

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドの受益証券
	ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	海外の債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。</p> <p>ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。</p> <p>ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてB B格相当以上（ムーディーズでB a 3以上またはS & PでB B -以上）とします。</p> <p>ホ. ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。1月と7月の計算期末については、上記継続分配相当額に付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・エマージング 高金利債券ファンド (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第101期	(決算日	2016年8月15日)
第102期	(決算日	2016年9月15日)
第103期	(決算日	2016年10月17日)
第104期	(決算日	2016年11月15日)
第105期	(決算日	2016年12月15日)
第106期	(決算日	2017年1月16日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・エマージング高金利債券ファンド(毎月分配型)」は、このたび、第106期の決算を行ないました。

ここに、第101期～第106期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			J.P. Morgan Global Diversified (円換算)		公社債組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
77期末(2014年8月15日)	6,118	50	△ 0.1	14,712	△ 0.2	96.8	6,540
78期末(2014年9月16日)	6,193	50	2.0	14,957	1.7	94.7	6,536
79期末(2014年10月15日)	6,064	50	△ 1.3	14,843	△ 0.8	96.5	6,392
80期末(2014年11月17日)	6,451	50	7.2	15,798	6.4	97.4	6,709
81期末(2014年12月15日)	6,285	50	△ 1.8	15,307	△ 3.1	97.1	6,448
82期末(2015年1月15日)	6,230	50	△ 0.1	15,228	△ 0.5	96.2	6,326
83期末(2015年2月16日)	6,094	50	△ 1.4	15,183	△ 0.3	96.5	6,161
84期末(2015年3月16日)	5,773	50	△ 4.4	14,511	△ 4.4	95.8	5,755
85期末(2015年4月15日)	5,817	50	1.6	15,048	3.7	95.5	5,767
86期末(2015年5月15日)	5,872	50	1.8	15,214	1.1	95.6	5,796
87期末(2015年6月15日)	5,811	50	△ 0.2	15,076	△ 0.9	95.5	5,710
88期末(2015年7月15日)	5,746	50	△ 0.3	15,109	0.2	96.0	5,560
89期末(2015年8月17日)	5,429	50	△ 4.6	14,447	△ 4.4	94.4	5,223
90期末(2015年9月15日)	5,011	50	△ 6.8	13,309	△ 7.9	94.4	4,747
91期末(2015年10月15日)	5,071	50	2.2	13,717	3.1	94.7	4,770
92期末(2015年11月16日)	5,018	50	△ 0.1	13,757	0.3	95.3	4,683
93期末(2015年12月15日)	4,771	50	△ 3.9	13,074	△ 5.0	95.8	4,423
94期末(2016年1月15日)	4,563	50	△ 3.3	12,673	△ 3.1	96.0	4,188
95期末(2016年2月15日)	4,385	50	△ 2.8	12,515	△ 1.2	95.6	4,004
96期末(2016年3月15日)	4,576	50	5.5	13,310	6.4	96.1	4,169
97期末(2016年4月15日)	4,525	50	△ 0.0	13,435	0.9	97.2	4,115
98期末(2016年5月16日)	4,351	50	△ 2.7	13,075	△ 2.7	93.8	3,941
99期末(2016年6月15日)	4,176	50	△ 2.9	12,695	△ 2.9	96.3	3,766
100期末(2016年7月15日)	4,283	50	3.8	13,363	5.3	95.7	3,853
101期末(2016年8月15日)	4,133	35	△ 2.7	13,047	△ 2.4	95.9	3,714
102期末(2016年9月15日)	4,056	35	△ 1.0	12,884	△ 1.3	94.8	3,591
103期末(2016年10月17日)	4,117	35	2.4	13,205	2.5	95.0	3,606
104期末(2016年11月15日)	4,010	35	△ 1.7	12,681	△ 4.0	94.7	3,494
105期末(2016年12月15日)	4,360	35	9.6	14,176	11.8	94.5	3,751
106期末(2017年1月16日)	4,238	35	△ 2.0	13,833	△ 2.4	94.2	3,617

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J.P. Morgan Global Diversified (円換算) は、J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

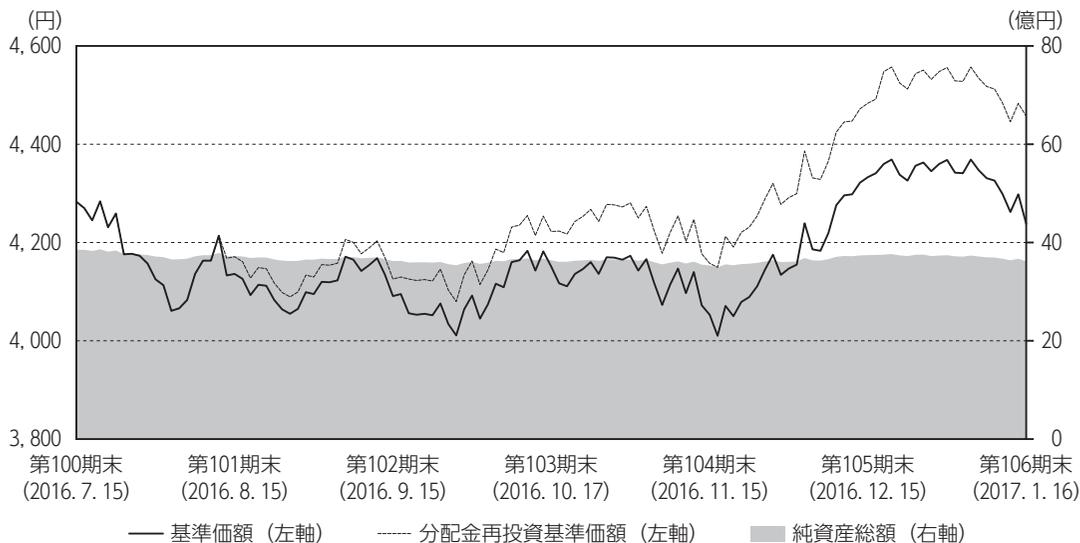
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第101期首：4,283円

第106期末：4,238円（既払分配金210円）

騰落率：4.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主として「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を通じて、新興国の債券に投資した結果、投資している債券の値下がりにはマイナス要因となった一方、各国の通貨が円に対して上昇したことや債券の利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロー バ ル ダ イ バ ー シ フ ァ イ ド (円換算)		公 社 債 入 率 組 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第101期	(期首) 2016年 7月15日	円 4,283	% —	13,363	% —	% 95.7
	7月末	4,157	△ 2.9	12,963	△ 3.0	95.8
	(期末) 2016年 8月15日	4,168	△ 2.7	13,047	△ 2.4	95.9
第102期	(期首) 2016年 8月15日	4,133	—	13,047	—	95.9
	8月末	4,120	△ 0.3	12,960	△ 0.7	95.0
	(期末) 2016年 9月15日	4,091	△ 1.0	12,884	△ 1.3	94.8
第103期	(期首) 2016年 9月15日	4,056	—	12,884	—	94.8
	9月末	4,045	△ 0.3	12,944	0.5	94.8
	(期末) 2016年 10月17日	4,152	2.4	13,205	2.5	95.0
第104期	(期首) 2016年 10月17日	4,117	—	13,205	—	95.0
	10月末	4,143	0.6	13,249	0.3	95.0
	(期末) 2016年 11月15日	4,045	△ 1.7	12,681	△ 4.0	94.7
第105期	(期首) 2016年 11月15日	4,010	—	12,681	—	94.7
	11月末	4,155	3.6	13,204	4.1	95.8
	(期末) 2016年 12月15日	4,395	9.6	14,176	11.8	94.5
第106期	(期首) 2016年 12月15日	4,360	—	14,176	—	94.5
	12月末	4,341	△ 0.4	13,983	△ 1.4	93.5
	(期末) 2017年 1月16日	4,273	△ 2.0	13,833	△ 2.4	94.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2016. 7. 16 ~ 2017. 1. 16）

■新興国債券市況

新興国の債券市場は個別の材料に加えて、原油など資源価格の動向をめぐる思惑や米国での大統領選挙、欧米の金融政策などに振らされる展開となりました。

・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、クーデター未遂事件を受けた肅正やテロなどの地政学リスク、憲法改正の議論など政治的不透明感の高まりなどを背景に金利は上昇しました。南アフリカでは、ゴードン財務相に対して裁判所から出廷命令が出されるなど政治的な不透明感を背景に金利が上昇する局面もありましたが、2016年12月の格付けの見直しで投資適格水準を維持できたことなどから金利の上昇幅を縮小しました。ポーランドでは、政策金利の据え置きが続く中、欧州の金利上昇や米国の大統領選挙の結果などを受けて、金利は上昇しました。

・ アジア地域

インドネシアでは、中央銀行の金融緩和などにより金利が低下する局面もありましたが、米国の大統領選挙の結果を受けて、当作成期間を通して見ると金利は上昇しました。マレーシアでは、米国の大統領選挙の結果を受けて世界的に金利が上昇する中、同様に金利上昇となりました。インドでは、中央銀行の利下げや高額紙幣の廃止と両替制限を受けて銀行預金に資金が流入し、その運用先として国債が買われたことなどを背景に、金利は低下しました。

・ 中南米地域

ブラジルでは、政策金利が引き下げられたほか、歳出上限法案の進ちょくなどを受けて金利は低下しました。メキシコでは、トランプ新米大統領がNAFTA（北米自由貿易協定）を批判し、米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化などを公約しており、メキシコ経済の不透明感の高まりを受けて金利は上昇しました。コロンビアでは、米国大統領選挙の結果を受けて金利が上昇する局面もありましたが、原油価格の上昇などを背景に、当期間を通して見ると金利は低下しました。

■為替相場

米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米ドル高観測や米国での利上げ観測が新興国通貨安の要因となった一方で、市場心理の改善や日米の金利差の拡大が米ドル高円安につながったことから、多くの通貨が対円で上昇しました。

・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、地政学リスクや政治的不透明感の高まり、また対外ぜい弱性を背景に対円で

下落しました。南アフリカ・ランドは、政治的な不透明感が後退したことや円安の進展を受け、対円で上昇しました。ポーランド・ズロチは、2016年11月ごろまでは対円で一進一退の推移となり、その後は米ドル高円安を受けて、対円で上昇しました。

・アジア地域

マレーシア・リングgitは、日銀の金融政策をめぐる思惑などに左右され、当期間を通して見ると対円で下落しました。インドネシア・ルピアやインド・ルピーは円安の流れが進展する中、対円で上昇しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、歳出上限法案の進ちょくなどを受け、構造改革期待などを背景に、対円で上昇しました。コロンビア・ペソは、原油価格の反発が買い材料となったほか、円安を受けて対円で上昇しました。メキシコ・ペソは、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し同国への悪影響が懸念されたことなどから、対円で下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

ポートフォリオについて

(2016. 7. 16 ~ 2017. 1. 16)

当ファンド

当作成期間を通じて「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

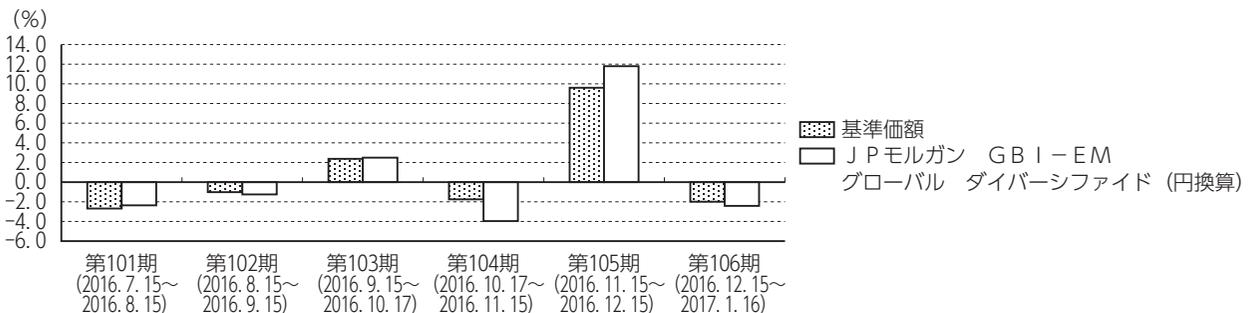
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1 (年) 程度～3 (年) 程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第101期から第106期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ35円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2016年7月16日 ～2016年8月15日	2016年8月16日 ～2016年9月15日	2016年9月16日 ～2016年10月17日	2016年10月18日 ～2016年11月15日	2016年11月16日 ～2016年12月15日	2016年12月16日 ～2017年1月16日
当期分配金（税込み）（円）	35	35	35	35	35	35
対基準価額比率（%）	0.84	0.86	0.84	0.87	0.80	0.82
当期の収益（円）	20	20	24	18	24	20
当期の収益以外（円）	14	14	10	16	10	14
翌期繰越分配対象額（円）	164	150	139	123	112	97

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(a) 経費控除後の配当等収益	20.76円	20.44円	24.23円	18.56円	24.28円	20.36円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	179.04	164.85	150.32	139.58	123.17	112.49
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	199.81	185.29	174.55	158.14	147.46	132.85
(f) 分配金	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	164.81	150.29	139.55	123.14	112.46	97.85

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第101期～第106期 (2016. 7. 16～2017. 1. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0. 732%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4, 173円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0. 328)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0. 383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0. 080	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0. 075)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	34	0. 812	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年7月16日から2017年1月16日まで)

決算期	第101期～第106期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	11,997	14,193	347,039	416,575

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第101期～第106期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第106期末		
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	3,204,646	2,869,604	3,600,492

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年8月15日)、(2016年9月15日)、(2016年10月17日)、(2016年11月15日)、(2016年12月15日)、(2017年1月16日)現在

項目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
(A) 資産	3,750,768,104円	3,627,766,404円	3,649,474,596円	3,530,326,537円	3,801,120,610円	3,652,692,708円
コール・ローン等	52,806,953	53,063,988	52,048,770	51,712,689	52,059,543	51,640,151
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド（評価額）	3,697,266,250	3,574,343,225	3,589,439,219	3,477,472,264	3,733,662,074	3,600,492,518
未収入金	694,901	359,191	7,986,607	1,141,584	15,398,993	560,039
(B) 負債	36,137,182	36,017,444	42,704,315	35,654,638	49,446,699	34,750,197
未払収益分配金	31,453,423	30,990,413	30,664,573	30,502,277	30,113,681	29,878,780
未払解約金	26,883	462,526	7,380,358	901,596	14,884,376	2,131
未払信託報酬	4,630,971	4,513,357	4,582,601	4,150,762	4,324,448	4,718,698
その他未払費用	25,905	51,148	76,783	100,003	124,194	150,588
(C) 純資産総額（A－B）	3,714,630,922	3,591,748,960	3,606,770,281	3,494,671,899	3,751,673,911	3,617,942,511
元本	8,986,692,428	8,854,403,832	8,761,306,586	8,714,936,329	8,603,908,873	8,536,794,492
次期繰越損益金	△ 5,272,061,506	△ 5,262,654,872	△ 5,154,536,305	△ 5,220,264,430	△ 4,852,234,962	△ 4,918,851,981
(D) 受益権総口数	8,986,692,428口	8,854,403,832口	8,761,306,586口	8,714,936,329口	8,603,908,873口	8,536,794,492口
1万口当り基準価額（C/D）	4,133円	4,056円	4,117円	4,010円	4,360円	4,238円

* 第100期末における元本額は8,996,568,302円、当作成期間（第101期～第106期）中における追加設定元本額は135,431,115円、同解約元本額は595,204,925円です。

* 第106期末の計算口数当りの純資産額は4,238円です。

* 第106期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,918,851,981円です。

■投資信託財産の構成

2017年1月16日現在

項目	第106期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	3,600,492	98.6
コール・ローン等、その他	52,200	1.4
投資信託財産総額	3,652,692	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=114.33円、1トルコ・リラ=30.55円、1メキシコ・ペソ=5.32円、100コロンビア・ペソ=3.88円、1インド・ルピー=1.69円、100インドネシア・ルピア=0.86円、1ブラジル・レアル=35.54円、1マレーシア・リンギット=25.64円、1南アフリカ・ランド=8.45円、1ポーランド・ズロチ=27.73円です。

(注3) ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドにおいて、第106期末における外貨建純資産（36,642,849千円）の投資信託財産総額（38,323,586千円）に対する比率は、95.6%です。

ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）

■損益の状況

第101期 自 2016年7月16日 至 2016年8月15日 第103期 自 2016年9月16日 至 2016年10月17日 第105期 自 2016年11月16日 至 2016年12月15日
 第102期 自 2016年8月16日 至 2016年9月15日 第104期 自 2016年10月18日 至 2016年11月15日 第106期 自 2016年12月16日 至 2017年1月16日

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(A) 配当等収益	△ 1,147円	△ 873円	△ 894円	△ 785円	△ 1,023円	△ 965円
受取利息	1	6	6	1	9	2
支払利息	△ 1,148	△ 879	△ 900	△ 786	△ 1,032	△ 967
(B) 有価証券売買損益	△ 98,362,249	△ 32,661,096	88,058,133	△ 58,342,949	335,945,933	△ 69,838,496
売買益	477,782	569,834	88,606,922	436,411	338,973,094	91,981
売買損	△ 98,840,031	△ 33,230,930	△ 548,789	△ 58,779,360	△ 3,027,161	△ 69,930,477
(C) 信託報酬等	△ 4,656,876	△ 4,538,600	△ 4,608,236	△ 4,173,982	△ 4,348,639	△ 4,745,092
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 103,020,272	△ 37,200,569	83,449,003	△ 62,517,716	331,596,271	△ 74,584,553
(E) 前期繰越損益金	△ 2,038,930,654	△ 2,123,485,543	△ 2,150,586,080	△ 2,072,202,136	△ 2,118,091,594	△ 1,789,521,152
(F) 追加信託差損益金	△ 3,098,657,157	△ 3,070,978,347	△ 3,056,734,655	△ 3,055,042,301	△ 3,035,625,958	△ 3,024,867,496
(配当等相当額)	(160,906,259)	(145,965,989)	(131,704,213)	(121,648,080)	(105,981,684)	(96,030,897)
(売買損益相当額)	(△ 3,259,563,416)	(△ 3,216,944,336)	(△ 3,188,438,868)	(△ 3,176,690,381)	(△ 3,141,607,642)	(△ 3,120,898,393)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 5,240,608,083	△ 5,231,664,459	△ 5,123,871,732	△ 5,189,762,153	△ 4,822,121,281	△ 4,888,973,201
(H) 収益分配金	△ 31,453,423	△ 30,990,413	△ 30,664,573	△ 30,502,277	△ 30,113,681	△ 29,878,780
次期繰越損益金 (G + H)	△ 5,272,061,506	△ 5,262,654,872	△ 5,154,536,305	△ 5,220,264,430	△ 4,852,234,962	△ 4,918,851,981
追加信託差損益金	△ 3,111,446,759	△ 3,083,866,759	△ 3,066,168,079	△ 3,069,368,513	△ 3,044,844,692	△ 3,037,364,031
(配当等相当額)	(148,116,657)	(133,077,577)	(122,270,789)	(107,321,868)	(96,762,950)	(83,534,362)
(売買損益相当額)	(△ 3,259,563,416)	(△ 3,216,944,336)	(△ 3,188,438,868)	(△ 3,176,690,381)	(△ 3,141,607,642)	(△ 3,120,898,393)
繰越損益金	△ 2,160,614,747	△ 2,178,788,113	△ 2,088,368,226	△ 2,150,895,917	△ 1,807,390,270	△ 1,881,487,950

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
(a) 経費控除後の配当等収益	18,663,821円	18,102,001円	21,231,149円	16,176,065円	20,894,947円	17,382,245円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	160,906,259	145,965,989	131,704,213	121,648,080	105,981,684	96,030,897
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	179,570,080	164,067,990	152,935,362	137,824,145	126,876,631	113,413,142
(f) 分配金	31,453,423	30,990,413	30,664,573	30,502,277	30,113,681	29,878,780
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	148,116,657	133,077,577	122,270,789	107,321,868	96,762,950	83,534,362
(h) 受益権総口数	8,986,692,428口	8,854,403,832口	8,761,306,586口	8,714,936,329口	8,603,908,873口	8,536,794,492口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	35円	35円	35円	35円	35円	35円
(単 価)	(4, 133円)	(4, 056円)	(4, 117円)	(4, 010円)	(4, 360円)	(4, 238円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

運用報告書 第18期 (決算日 2017年1月16日)

(計算期間 2016年7月16日～2017年1月16日)

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドの第18期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	<p>①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。</p> <p>ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。</p> <p>ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてBB格相当以上（ムーディーズでBa3以上またはS&PでBB-以上）とします。</p> <p>ホ. ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

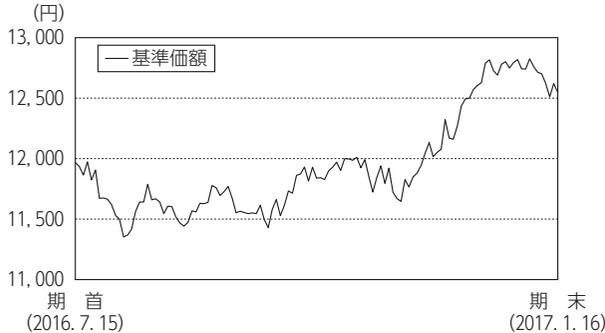
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



【運用経過】

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,968円 期末：12,547円 騰落率：4.8%

【基準価額の主な変動要因】

新興国の債券に投資した結果、投資している債券の値下がりにはマイナス要因となった一方、各国の通貨が円に対して上昇したことや債券の利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国の債券市場は個別の材料に加えて、原油など資源価格の動向をめぐる思惑や米国での大統領選挙、欧米の金融政策などに振られる展開となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、クーデター未遂事件を受けた肅正やテロなどの地政学リスク、憲法改正の議論など政治的不透明感の高まりなどを背景に、金利は上昇しました。南アフリカでは、ゴードン財務相に対して裁判所から出廷命令が出されるなど政治的な不透明感を背景に金利が上昇する局面もありましたが、2016年12月の格付けの見直しで投資適格水準を維持できたことなどから金利の上昇幅を縮小しました。ポーランドでは、政策金利の据え置きが続く中、欧州の金利上昇や米国の大統領選挙の結果などを受けて、金利は上昇しました。

・アジア地域

インドネシアでは、中央銀行の金融緩和などにより金利が低下する局面もありましたが、米国の大統領選挙の結果を受けて、期を通して見ると金利は上昇しました。マレーシアでは、米国の大統領選挙の結果を受けて世界的に金利が上昇する中、同様に金利上昇となりました。インドでは、中央銀行の利下げや高額紙幣の廃止と両替制限を受けて銀行預金に資金が流入し、その運用先として国債が買われたことなどを背景に、金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、政策金利が引き下げられたほか、歳出上限法案の進捗などをを受けて金利は低下しました。メキシコでは、トランプ新米大統領がNAFTA（北米自由貿易協定）を批判し、米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化などを公約しており、メキシコ経済の不透明感の高まりを受けて金利は上昇しました。コロンビアでは、米国大統領選挙の結果を受けて金利が上昇する局面もありましたが、原油価格の上昇などを背景に、期を通して見ると金利は低下しました。

○為替相場

米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米ドル高観測や米国での利上げ観測が新興国通貨安の要因となった一方で、市場心理の改善や日米の金利差の拡大が米ドル高円安につながったことから、多くの通貨が対円で上昇しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、地政学リスクや政治的不透明感の高まり、また対外ぜい弱性を背景に対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、政治的な不透明感が後退したことや円安の進展を受け、対円で上昇しました。ポーランド・ズロチは、2016年11月ごろまでは対円で一進一退の推移となり、その後は米ドル高円安を受けて、対円で上昇しました。

・アジア地域

マレーシア・リングgitは、日銀の金融政策をめぐる思惑などに左右され、期を通して見ると対円で下落しました。インドネシア・ルピアやインド・ルピーは円安の流れが進展する中、対円で

年 月 日	基準価額		J Pモルガン GBI-E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入 比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%
(期首) 2016年 7月15日	11,968	—	13,363	—	96.1
7月末	11,620	△ 2.9	12,963	△ 3.0	96.3
8月末	11,630	△ 2.8	12,960	△ 3.0	95.4
9月末	11,528	△ 3.7	12,944	△ 3.1	95.3
10月末	11,924	△ 0.4	13,249	△ 0.9	95.5
11月末	12,077	0.9	13,204	△ 1.2	96.2
12月末	12,740	6.5	13,983	4.6	93.9
(期末) 2017年 1月16日	12,547	4.8	13,833	3.5	94.6

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン GBI-E Mグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

上昇しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、歳上上限法案の進捗よきなどを受け、構造改革期待などを背景に、対円で上昇しました。コロンビア・ペソは、原油価格の反発が買い材料となったほか、円安を受けて対円で上昇しました。メキシコ・ペソは、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し同国への悪影響が懸念されたことなどから、対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1(年)程度～3(年)程度でコントロールします。

◆ポートフォリオについて

・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。

・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リンギット、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。

・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1(年)程度～3(年)程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1(年)程度～3(年)程度でコントロールします。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	9
(保管費用)	(9)
(その他)	(0)
合計	9

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2016年7月16日から2017年1月16日まで)

		買付額	売付額
トルコ	国債証券	千トルコ・リラ 35,385	千トルコ・リラ 89,028 (—)
	特殊債券	35,673	(—)
メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ 424,575	千メキシコ・ペソ 330,233 (178,900)
コロンビア	国債証券	千コロンビア・ペソ 6,323,210	千コロンビア・ペソ 26,993,949 (—)
インド	国債証券	千インド・ルピー 335,220	千インド・ルピー 802,885 (—)
インドネシア	国債証券	千インドネシア・ルピア 51,070,000	千インドネシア・ルピア 53,135,000 (—)
	特殊債券	—	89,867,800 (—)
ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル 44,904	千ブラジル・レアル 86,014 (—)
マレーシア	国債証券	千マレーシア・リンギット 69,279	千マレーシア・リンギット 83,267 (—)
南アフリカ	国債証券	千南アフリカ・ランド 70,543	千南アフリカ・ランド 181,137 (87,000)
	特殊債券	34,372	(—)
ポーランド	国債証券	千ポーランド・ズロチ 5,399	千ポーランド・ズロチ 18,686 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年7月16日から2017年1月16日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	1,718,467	Mexican Bonos (メキシコ) 7.25% 2016/12/15	1,855,903
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2023/1/1	1,457,358	Turkey Government Bond (トルコ) 8.2% 2016/11/16	1,531,027
MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 4.378% 2019/11/29	1,319,580	MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 4.262% 2016/9/15	1,371,096
KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 8.5% 2017/9/19	651,505	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2018/7/1	1,223,068
Mexican Bonos (メキシコ) 5% 2017/6/15	641,063	India Government Bond (インド) 7.28% 2019/6/3	902,626
India Government Bond (インド) 8.17% 2044/12/1	526,295	Turkey Government Bond (トルコ) 10.4% 2019/3/27	798,061
Turkey Government Bond (トルコ) 10.4% 2019/3/27	523,871	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2017/9/15	775,084
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2017/9/15	510,737	Turkey Government Bond (トルコ) 9% 2017/3/8	662,601
MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 3.659% 2020/10/15	433,218	Colombian TES (コロンビア) 11.25% 2018/10/24	639,797
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 13.625% 2017/5/9	356,878	MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 3.394% 2017/3/15	607,861

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国(外貨建) 公社債(通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
トルコ	千トルコ・リラ 109,000	千トルコ・リラ 107,621	千円 3,287,822	% 8.7	% —	% 2.3	% 2.4	% 4.1
メキシコ	千メキシコ・ペソ 682,000	千メキシコ・ペソ 667,166	3,549,326	9.4	—	0.7	2.7	6.0
コロンビア	千コロンビア・ペソ 103,000,000	千コロンビア・ペソ 107,698,580	4,178,704	11.1	—	0.5	—	10.6
インド	千インド・ルピー 2,350,000	千インド・ルピー 2,449,625	4,139,866	11.0	—	2.5	8.5	—
インドネシア	千インドネシア・ルピア 472,800,000	千インドネシア・ルピア 474,446,874	4,080,243	10.8	—	2.3	—	8.5
ブラジル	千ブラジル・レアル 125,000	千ブラジル・レアル 117,706	4,183,279	11.1	—	4.3	4.2	2.6
マレーシア	千マレーシア・リンギット 161,000	千マレーシア・リンギット 162,573	4,168,391	11.1	—	—	4.6	6.4
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 456,000	千南アフリカ・ランド 463,199	3,914,033	10.4	—	1.5	—	8.9
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 145,000	千ポーランド・ズロチ 150,299	4,167,806	11.1	—	0.4	5.6	5.1
合計	—	—	35,669,475	94.6	—	14.5	28.0	52.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区分	銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額		償還年月日
					当 期 末		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	千トルコ・リラ 30,000	千トルコ・リラ 29,670	千円 906,418	2019/03/27
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	19,000	18,202	556,071	2024/03/20
	Turkey Government Bond	国債証券	10.6000	10,000	9,700	296,335	2026/02/11
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	8.5000	20,000	20,159	615,881	2017/09/19
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	13.6250	24,000	24,172	738,479	2017/05/09
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.2500	4,000	3,899	119,141	2018/07/20
	ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	0.5000	2,000	1,816	55,495	2017/12/19
通貨小計	銘柄数 金額	7銘柄		109,000	107,621	3,287,822	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	千メキシコ・ペソ 300,000	千メキシコ・ペソ 303,117	1,612,582	2017/12/14
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	52,000	51,102	271,865	2031/05/29
	Mexican Bonos	国債証券	5.0000	120,000	119,245	634,384	2017/06/15
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	210,000	193,701	1,030,494	2021/11/24
通貨小計	銘柄数 金額	4銘柄		682,000	667,166	3,549,326	
コロンビア	Colombia Government International Bond	国債証券	9.8500	千コロンビア・ペソ 4,000,000	千コロンビア・ペソ 4,770,000	185,076	2027/06/28
	Colombian TES	国債証券	5.0000	47,000,000	46,384,300	1,799,710	2018/11/21
	Colombian TES	国債証券	11.2500	52,000,000	56,544,280	2,193,918	2018/10/24
通貨小計	銘柄数 金額	3銘柄		103,000,000	107,698,580	4,178,704	
インド	India Government Bond	国債証券	7.2800	千インド・ルピー 1,850,000	千インド・ルピー 1,889,035	3,192,469	2019/06/03
	India Government Bond	国債証券	8.8300	200,000	222,820	376,565	2023/11/25
	India Government Bond	国債証券	8.1700	300,000	337,770	570,831	2044/12/01
通貨小計	銘柄数 金額	3銘柄		2,350,000	2,449,625	4,139,866	
インドネシア	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.2500	千インドネシア・ルピア 20,000,000	千インドネシア・ルピア 20,533,600	176,588	2036/05/15
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.7500	30,000,000	30,711,300	264,117	2044/02/15
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.7500	50,000,000	49,588,500	426,461	2017/12/04
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	5.2000	55,000,000	49,550,050	426,130	2022/03/01
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.2500	23,000,000	23,000,230	197,801	2017/08/22
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	10.0000	140,000,000	146,249,600	1,257,746	2018/11/16
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	8.3500	5,800,000	5,804,234	49,916	2017/06/01
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2500	79,000,000	79,026,860	679,630	2017/07/17
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2000	70,000,000	69,982,500	601,849	2018/01/22
	通貨小計	銘柄数 金額	9銘柄		472,800,000	474,446,874	4,080,243
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	千ブラジル・レアル 45,000	千ブラジル・レアル 44,035	1,565,027	2021/01/01
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	48,000	46,125	1,639,303	2023/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	3,000	2,851	101,328	2017/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	20,000	17,284	614,273	2018/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	9,000	7,409	263,347	2019/01/01
通貨小計	銘柄数 金額	5銘柄		125,000	117,706	4,183,279	

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期		未		償 還 年 月 日
				額 面 金 額	評 価 額	評 価 額		
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
マレーシア	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.2400	千マレーシア・リンギット 20,000	千マレーシア・リンギット 20,227	千円 518,625	2018/02/07	
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.3780	50,000	51,175	1,312,127	2019/11/29	
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.5800	4,000	4,020	103,095	2018/09/28	
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.2600	70,000	70,133	1,798,228	2018/03/01	
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.6590	17,000	17,017	436,315	2020/10/15	
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		161,000	162,573	4,168,391		
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.2500	千南アフリカ・ランド 126,000	千南アフリカ・ランド 126,442	1,068,437	2017/09/15	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	60,000	60,223	508,891	2018/12/21	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	60,000	67,320	568,854	2026/12/21	
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	5.0000	15,000	14,693	124,156	2017/10/04	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	5.5200	25,000	24,737	209,027	2017/06/28	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	6.6250	75,000	74,036	625,606	2017/12/05	
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.0000	75,000	76,037	642,514	2018/12/21	
	African Development Bank	特殊債券	6.6250	20,000	19,709	166,546	2017/12/09	
通貨小計	銘柄数 金 額	8銘柄		456,000	463,199	3,914,033		
ポーランド	Poland Government Bond	国債証券	5.2500	千ポーランド・ズロチ 67,000	千ポーランド・ズロチ 68,902	1,910,674	2017/10/25	
	Poland Government Bond	国債証券	5.5000	48,000	52,008	1,442,181	2019/10/25	
	Poland Government Bond	国債証券	1.5000	25,000	24,190	670,788	2020/04/25	
	Poland Government Bond	国債証券	4.0000	5,000	5,198	144,161	2023/10/25	
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		145,000	150,299	4,167,806		
合 計	銘柄数 金 額	48銘柄				35,669,475		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年1月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 35,669,475	% 93.1
コール・ローン等、その他	2,654,111	6.9
投資信託財産総額	38,323,586	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=114.33円、1トルコ・リラ=30.55円、1メキシコ・ペソ=5.32円、100コロンビア・ペソ=3.88円、1インド・ルピー=1.69円、100インドネシア・ルピア=0.86円、1ブラジル・レアル=35.54円、1マレーシア・リンギット=25.64円、1南アフリカ・ランド=8.45円、1ポーランド・ズロチ=27.73円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(36,642,849千円)の投資信託財産総額(38,323,586千円)に対する比率は、95.6%です。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年1月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	39,387,601,782円
コール・ローン等	2,089,876,657
公社債（評価額）	35,669,475,006
未収入金	1,066,317,542
未収利息	507,720,601
前払費用	54,211,976
(B) 負債	1,692,688,887
未払金	1,640,726,866
未払解約金	51,962,021
(C) 純資産総額（A－B）	37,694,912,895
元本	30,043,161,283
次期繰越損益金	7,651,751,612
(D) 受益権総口数	30,043,161,283口
1万口当り基準価額（C／D）	12,547円

* 期首における元本額は36,412,853,392円、当期中における追加設定元本額は38,182,658円、同解約元本額は6,407,874,767円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）26,838,459,603円、ダイワ成長国セレクト債券ファンド（年1回決算型）328,199,297円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）2,869,604,303円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（年1回決算型）6,898,080円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,547円です。

■損益の状況

当期 自2016年7月16日 至2017年1月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,479,854,765円
受取利息	1,479,421,796
その他収益金	604,232
支払利息	△ 171,263
(B) 有価証券売買損益	270,451,292
売買益	2,281,614,477
売買損	△ 2,011,163,185
(C) その他費用	△ 30,450,324
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,719,855,733
(E) 前期繰越損益金	7,165,328,909
(F) 解約差損益金	△ 1,241,805,228
(G) 追加信託差損益金	8,372,198
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	7,651,751,612
次期繰越損益金（H）	7,651,751,612

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。